

京都大学人文科学研究所共同研究実績・活動報告書

(5年計画の5年目)

1. 研究課題

秦代出土文字史料の研究

Study on the Excavated Manuscripts of the Qin Dynasty

2. 研究代表者氏名

宮宅 潔

MIYAKE Kiyoshi

3. 研究期間

2016年4月-2021年3月(5年目)

4. 研究目的

中国湖南省龍山県里耶鎮で戦国時代から漢代にかけて使用された都城遺跡が発掘され、そこから秦の行政文書を中心とする簡牘史料（総計 38,000 余簡）が発見されたのは、2002 年のことであった。簡牘には始皇帝（秦王政）25 年（前 222）から二世皇帝 2 年（前 208 年）までの紀年が現れる。里耶鎮は湖南・湖北・重慶市が接する境界付近の、険しい山間部に位置するが、始皇帝による東方六国の征服（前 221）の後、この山深い離郷にも郡県制の網の目が及び、秦帝国の統治下に組み入れられたことを物語る。本研究班は、この貴重な史料を会読形式で精読し、中国古代帝国の統治制度やその実際のありように迫ることを、主な目的とする。これと併せて、岳麓書院所蔵簡の会読も進めている。こちらの史料は、2003 年に湖南大学岳麓書院が香港において購入した盗掘簡である。すでに 5 部の報告書が出版され、第 4・5 部の報告書には律令条文が収録されている。この法律史料を併せて精読し、如上の目的を達成する一助としたい。

In 2002, a city remain from the Zhanguo period to the Han was excavated at the town of Liye, Longshan, Hunan province, over 38,000 strips and boards were discovered here. These strips comprise administrative documents, dated from 222BCE to 208BCE. It follows that the area around Liye, a small mountain village located near the boundary among Hunan, Hubei, and Chongqing, was incorporated into the Qin administrative system after the unification by the First Emperor. In this project, we will read this manuscript closely, investigate the political system of the early Chinese emperor and its reality. In addition to the Liye discoveries, the Qin

strips of unknown place were smuggled to Hong Kong and repatriated by the Yuelu Academy of Hunan University in 2003. Several parts of this material have been already published, which comprise the calendars and the records of judicial process during the Qin. The photos and transcriptions of the Qin statutes and ordinances among these strips will also appear soon. Utilizing this material, we intend to achieve our above-mentioned goal.

5. 本年度の研究実施状況

里耶秦簡・岳麓簡の概要を紹介し、その内容や研究状況について意見を交換したうえで、会読を進めた。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、四月初めより研究会をオンラインでの開催に切り替えた。それにより会読は途切れることなく進み、計画通り3月末までに42回の研究会を開催した。

6. 本年度の研究実施内容

2020-04-03	岳麓簡会読 248-256	発表者	目黒 杏子
2020-04-10	岳麓簡会読 248-256	発表者	目黒 杏子
2020-04-17	岳麓簡会読 248-256	発表者	目黒 杏子
2020-04-24	岳麓簡会読 257-267	発表者	安永 知晃 関西学院大学
2020-05-01	岳麓簡会読 257-267	発表者	安永 知晃 関西学院大学
2020-05-08	岳麓簡会読 257-267	発表者	安永 知晃 関西学院大学
2020-05-15	岳麓簡会読 257-267	発表者	安永 知晃 関西学院大学
2020-05-22	岳麓簡会読 257-267	発表者	安永 知晃 関西学院大学
2020-05-29	岳麓簡会読 268-275	発表者	章瀟逸 人間・環境学研究科
2020-06-05	岳麓簡会読 268-275	発表者	章瀟逸 人間・環境学研究科
2020-06-15	岳麓簡会読 268-275	発表者	章瀟逸 人間・環境学研究科
2020-06-19	岳麓簡会読 268-275	発表者	章瀟逸 人間・環境学研究科
2020-06-26	岳麓簡会読 268-275	発表者	章瀟逸 人間・環境学研究科
2020-07-03	岳麓簡会読 268-275	発表者	章瀟逸 人間・環境学研究科
2020-07-10	岳麓簡会読 276-283	発表者	佐藤 達郎 関西学院大学
2020-07-17	岳麓簡会読 276-283	発表者	佐藤 達郎 関西学院大学
2020-07-31	岳麓簡会読 276-283	発表者	佐藤 達郎 関西学院大学
2020-09-04	岳麓簡会読 276-283	発表者	佐藤 達郎 関西学院大学
2020-09-11	里耶秦簡 会読⑧925-⑧959	発表者	宮宅 潔
2020-09-18	岳麓簡会読 276-283	発表者	佐藤 達郎 関西学院大学
2020-09-25	里耶秦簡会読⑧997-⑧1023	発表者	安永 知晃 関西学院大学
2020-10-02	岳麓簡会読 284-293	発表者	西 真輝 文学研究科

2020-10-16 里耶秦簡会読⑧997-⑧1023 発表者 安永 知晃 関西学院大学
2020-10-23 岳麓簡会読 284-293 発表者 西 真輝 文学研究科
2020-10-30 里耶秦簡会読⑧997-⑧1023 発表者 安永 知晃 関西学院大学
2020-11-06 岳麓簡会読 284-293 発表者 西 真輝 文学研究科
2020-11-20 里耶秦簡会読⑧1024-⑧1048 発表者 章瀟逸 人間・環境学研究
2020-11-27 岳麓簡会読 294-302 発表者 角谷 常子 奈良大学
2020-12-04 里耶秦簡会読⑧1024-⑧1048 発表者 章瀟逸 人間・環境学研究科
2020-12-11 岳麓簡会読 294-302 発表者 角谷 常子 奈良大学
2020-12-18 里耶秦簡会読⑧1024-⑧1048 発表者 章瀟逸 人間・環境学研究科
2021-01-08 岳麓簡会読 303-312 発表者 宗 周太郎 文学研究科
2021-01-15 里耶秦簡会読⑧1049~⑧1073 発表者 西 真輝 文学研究科
2021-01-22 岳麓簡会読 303-312 発表者 宗 周太郎 文学研究科
2021-01-29 里耶秦簡会読⑧1049~⑧1073 発表者 西 真輝 文学研究科
2021-02-05 岳麓簡会読 303-312 発表者 宗 周太郎 文学研究科
2021-02-12 岳麓簡会読 303-312 発表者 宗 周太郎 文学研究科
2021-02-26 里耶秦簡会読⑧1049~⑧1073 発表者 西 真輝 文学研究科
2021-03-05 岳麓簡会読 303-312 発表者 宗 周太郎 文学研究科
2021-03-12 里耶秦簡会読⑧1073~⑧1109 発表者 佐藤 達郎 関西学院大学
2021-03-19 岳麓簡会読 313-324 発表者 宮宅 潔

7. 共同研究会に関連した公表実績

「岳麓書院所蔵簡《秦律令（壹）》訳注稿 その3」を『東方学報』誌上で公開した。また人文研アカデミーの連続セミナーとして「秦帝国の実像 同時代資料が語る始皇帝の時代」（10月1日、8日、15日、22日）を開催し、研究の一端を広く一般に向けても発信した

8. 研究班員

所内

藤井律之、古勝隆一、宮宅 潔、目黒杏子、陳 捷、李 磊、魏 永康、陳 鳴、曹 天江

学内

宗 周太郎（文学研究科・博士課程）、斎藤 賢（文学研究科・博士課程）、章 瀟逸（人間・環境学研究科・博士課程）

学外

郭 聡敏（立命館大学）、佐藤 達郎（関西学院大学）、角谷 常子（奈良大学）、鷹取 祐司（立命館大学）、土口史記（岡山大学）、安永 知晃（関西学院大学）、畑野 吉則（奈良文化財研究所）

9. 共同利用・共同研究の参加状況

区分	機関数 (必須)	受入人数					延べ人数				
		総計	外国人	若手研究者 (40歳未満)	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	総計	外国人	若手研究者 (40歳未満)	若手研究者 (35歳以下)	大学院生
学内(法人内)	1	10	4	5	4	3	361	110	208	185	84
国立大学	1	1	0	1	0	0	15	0	15	0	0
公立大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
私立大学	3	5	1	2	2	1	203	44	87	87	50
大学共同利用機関法人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
独立行政法人等公的研究機関	1	1	0	1	0	0	27	0	27	0	0
民間機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外国機関	2	2	2	0	0	0	11	11	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	8	19	7	9	6	4	617	165	337	272	134
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

10. 本年度 共同利用・共同研究を活用して発表された論文数

	共同利用・共同研究による成果として発表された論文数			
			うち国際学術誌掲載論文数	
①人文研に所属する者のみの論文(単著・共著)	3		1	
②人文研に所属する者と人文研以外の国内の機関に所属する者の論文(共著)	1		0	
③人文研以外の国内の機関に所属する者のみの論文(単著・共著)	1		0	
④人文研を含む国内の機関に所属する者と国外の機関に所属する者の論文(共著)	0		0	
⑤国外の機関に所属する者のみの論文(単著・共著)	0		0	

本年度発表されたインパクトファクターを用いることが適当ではない分野等

雑誌名	掲載論文数	掲載年月日	論文名	発表者名
簡帛	1	R2. 5	秦遷陵鼎的物資出入與校計	曹天江
東方学報	2	R2. 12	前漢後半期における宗廟制の変容 岳麓書院所蔵簡《秦律令（壹）》訳注稿その（三）	目黒杏子 秦代出土文字史料の研究班
簡帛網	1	R2. 11	《嶽麓秦簡（肆）》中的“榦”與“除”	章瀟逸

11. 費目の30%を超える大幅な変更があった場合の変更理由
なし

12. 次年度の研究実施計画
なし

13. 次年度の経費
なし

14. 研究成果公表計画および今後の展開等

本年度の会読分を「岳麓書院所蔵簡《秦律令（壹）》譯注稿 其の（四）」として『東方学報』誌上に発表する。併せて、《秦律令（壹）》（第四冊）分の訳注に校訂を加え、再整理して単行本として刊行する。第四冊分の残りの部分の会読は、次年度から新たに組織する研究班において行う。